

公益財団法人横須賀芸術文化財団
平成 26 年度第 2 回評議員会
議 事 録

- 1 開催日時** 平成 26 年 6 月 18 日（水）13 時 30 分から 14 時 20 分まで
- 2 開催場所** 横須賀市産業交流プラザ 第 1 会議室
- 3 出席者** 評議員総数 5 名
出席評議員 4 名
上田滋、岡朋子、上条浩、下里矩生
出席理事 1 名
原田恵次（業務執行理事・常務理事）

4 議長 上田滋

5 決議及び承認事項

議案第 2 号 平成 25 年度事業報告及び決算について

6 報告事項

- ・平成 26 年度第 1 回理事会以降における理事会の決議事項について
- ・平成 26 年 3 月 1 日以降の職務の執行状況について
- ・「第 5 回野島稔・よこすかピアノコンクール」の開催結果について

7 議事の経過概要及びその結果

定刻に出席評議員全員の着席を確認し、天沼事業部長が開会を宣言。

定款第 18 条の規定に基づき、出席した評議員の互選により上田評議員が議長に選出され、併せて、定款第 22 条第 2 項の規定に基づく議事録署名人となった。

上田評議員が定款第 19 条第 1 項に規定する定足数を満たしていることを確認し、本評議員会が有効に成立した旨を宣言。

上田評議員が各議案を上程し、事務局に説明を指示し、議案の審議に入った。

(1) 議案第 2 号 平成 25 年度事業報告及び決算について

大倉事業課長（事業報告）及び柳田管理課長（決算）が詳細を説明。

説明によると、平成 25 年度は、横須賀芸術劇場の第 2 期指定管理期間の最終年に当たる。自主公演事業については、多様なジャンルの公演を鑑賞できる環境づくりに努めるとともに、積極的に販路拡大に取り組むなどして、市民に多くの舞台芸術の鑑賞機会を提供した。また、平成 26 年 2 月から、約 10 ヶ月にわたる開館 20 周年記念事業を開始した。育成事業については、若手演奏家の育成や、劇場合唱団の活動などを通して市民が主体的に文化活動に参加できる環境を提供するなど、文化振興に貢献した。貸館事業については、情報提供及び営業活動の強化により利用促進を図り、利用者のニーズの把握、ホスピタリティの向上に取り組み、顧客満足度の向上及び充実したサービスの提供に努めた。その他事業全般において、横須賀市の文化施策との連携を図り、常に地域に親しまれる劇場として、地域の活性化及び芸術文化の振興に寄与した。

決算額については、適正な公益目的事業比率を確保し、昨年度と同様に良好な収支結果に終わり、今後予定する周年記念事業等に向けた財源確保に努めることができたとの内容であった。

続いて、伊藤、山崎両監事が平成 25 年度における理事の職務の執行について監査した結果、事業報告は法令及び定款に従い法人の状況を正しく示していること、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められないこと、内部管理体制の整備に関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行が相当であること、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示していることが認められた旨報告された。

本議案に関連し、次の質疑応答があった。

- ・上条評議員：公益目的事業のうち「芸術文化の創造、発信及び普及」について、主催・共催公演の概要が記載されているが、貸館公演に関する情報が少ない。当財団の実施事業ではないが、公演数、入場者数等のデータを付記してはどうか。
- ・天沼業務部長：貸館公演を含むデータについては、施設利用実績として別項に記載している。表記方法を工夫したい。
- ・上条評議員：実際に地下駐車場を利用したところ、空車区画が見受けられた。現在の利用率をどのように捉えているか。
- ・柳田管理課長：時間帯、曜日等により違いがある。土日祝日については満車になることもあり、数年前と比べて利用台数は増加傾向にある。周辺ホテルとの提携、平日定期券の取扱い等を継続しており、引き続き利用促進を図っていきたい。
- ・上田評議員：次回以降、実績数値を記載するなど、より詳細な報告内容となるよう努めていただきたい。

以上、上田評議員が諮った結果、全員一致をもって原案のとおり承認された。

(2) 報告事項

・平成 26 年度第 1 回理事会以降における理事会の決議事項について

(平成 26 年度第 1 回理事会について)

柳田管理課長が報告。

議案第 1 号及び第 2 号については、ともに直後に開催された評議員会において審議した議案に関連するものであったとの内容であった。

(平成 26 年度第 2 回理事会について)

柳田管理課長が報告。

議案第 3 号及び第 5 号については、ともに本評議員会において審議された議案に関連するため、理事会の決議事項であった議案第 4 号（補正予算）を中心として報告された。

主催公演 1 公演において、補助金を得ることが確定した。また、平成 25 年度決

算確定前に平成 26 年度予算の承認を受けたため、決算上の次期繰越金と予算上の前期繰越金の一致を図り、かつ前期繰越金の増額補正分については、今後の芸術普及事業の準備資金として特定資産へ積み増すほか、施設の老朽化に伴う追加の緊急修繕に備えるための予備費に充てるとの内容であった。

本報告内容について、評議員から質疑がなされなかった。

・平成 26 年 3 月 1 日以降の職務の執行状況について

大倉事業課長が報告。

横須賀市関係として、芸術劇場指定管理業務に係る月次及び年次報告を行ったこと、神奈川県公益認定等審議会事務局による立入検査が実施されたことなどが報告された。

本報告内容について、評議員から質疑がなされなかった。

・「第 5 回野島稔・よこすかピアノコンクール」の開催結果について

大倉事業課長が報告。

平成 26 年 4 月 23 日から 29 日までのうち、6 日間で同コンクールを開催した。

81 名が応募し、67 名が参加した。本選には 8 名が進出し、第 1 位に 1 名、第 2 位に 2 名を決定した。第 1 位の副賞として、大劇場における優勝者記念リサイタルを開催する予定である。野島審査委員長からは、テープ審査の段階から非常にレベルが高く、過去 5 回で最も甲乙付け難い内容であった旨の講評を得ている。初回開催から 10 年が経ち、本コンクールが全国的にもレベルの高いコンクールであると周知された結果であり、観覧者が延べ 1,020 名に及ぶなど、若い演奏家を支援するという輪が着実に広がっていると感じられるコンクールであった。

本報告内容について、評議員から質疑がなされなかった。

以上をもって、議事全部の審議及び報告が終了したので、14 時 20 分、議長が閉会を宣し、解散した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長が記名押印する。

平成 26 年 6 月 28 日

公益財団法人横須賀芸術文化財団

議 長
評 議 員

上 田 滋

印

本議事録の作成にかかわる職務を行った者の氏名

公益財団法人横須賀芸術文化財団

常務理事（事務局長） 原田恵次

業務部管理課 佐久間陽一